



令和7年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

令和6年8月9日

上場会社名 アプライド株式会社
コード番号 3020 URL <http://www.applied-g.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 岡 義治
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 山口 圭介

TEL 092-481-7801

配当支払開始予定日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和7年3月期第1四半期の連結業績(令和6年4月1日～令和6年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第1四半期	9,838	4.2	474	30.4	477	30.8	322	30.8
6年3月期第1四半期	9,446	16.6	363	73.3	365	74.3	246	116.3

(注)包括利益 7年3月期第1四半期 325百万円 (30.5%) 6年3月期第1四半期 248百万円 (115.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
7年3月期第1四半期	119.34	
6年3月期第1四半期	91.24	

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
7年3月期第1四半期	17,376		10,579			60.3
6年3月期	18,070		10,416			57.1

(参考)自己資本 7年3月期第1四半期 10,478百万円 6年3月期 10,317百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
6年3月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
7年3月期		20.00		60.00	80.00
7年3月期(予想)		20.00		60.00	80.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和7年3月期の連結業績予想(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	0.4	2,150	1.2	2,150	0.3	1,350	11.5	499.44

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	7年3月期1Q	2,703,200 株	6年3月期	2,703,200 株
期末自己株式数	7年3月期1Q	152 株	6年3月期	152 株
期中平均株式数(四半期累計)	7年3月期1Q	2,703,048 株	6年3月期1Q	2,703,078 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1.経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(セグメント情報等の注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド消費の回復などを背景に緩やかに持ち直しが見込まれるものの、物価上昇による家計の節約行動の長期化や国際情勢の緊張など、引き続き不透明な状況が続いております。

一方、テレワークやオンラインミーティングの定着、コスト削減を目的としたデジタル化への需要増加、企業の研究開発部門での設備投資拡大など、企業のIT投資は底堅く推移しました。

このような状況の中、当社グループは、IT導入サポートを軸に、AI利活用、より高度な処理を可能とする高性能・高耐久仕様のパソコン開発及び販売、データ保全ソリューション、オンライン保守サポート等、強みを活かした営業展開を図り、顧客増大と深耕を図りました。

全国26店舗を展開するパソコン専門店「アプライド」では、個人ユーザー及び地域の法人様向けのデジタル課題の解決、専門分野に特化した製品・サービスのご提案を強化し、差別化を推し進めました。

大学、官公庁向けの販売を主体とするSI営業では、研究開発向けの高付加価値プライベートブランド製品及びサービスの充実、ソリューション提案に注力しました。

BtoB販売を中心とした特機営業では人員を増強し、オンライン商談、オンラインセミナー等を駆使し、顧客ニーズの深掘りと案件開拓の推進、独自システムによる顧客の囲い込みを強化しました。

化粧品・雑貨専門店「ハウズ」は九州と愛知に計5店舗を展開し、独自開発商品の展開とイベント開催を軸に、増客と収益性の向上に努めました。

出版・広告事業においては、福岡を拠点とする「株式会社シティ情報ふくおか」にて、出版事業のみならず、SNSや動画などコンテンツ制作、行政・自治体事業、各種企画・運営など幅広く推進し、事業拡大を図りました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は98億38百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は4億74百万円（前年同期比30.4%増）、経常利益は4億77百万円（前年同期比30.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は3億22百万円（前年同期比30.8%増）となりました。

セグメントごとの売上高は次のとおりです。

- ①パソコン・ゲーム事業は、「AIの日常化に挑戦する会社」直販型メーカーを目指し、デジタル販促を強めながら、展示の充実、売り場の差別化を進め、BTO・HPC・AIサーバー・ワークステーション等、CERVOシリーズを中心とする高単価高付加価値製品の販売とサポート販売に注力することで、売上高は73億15百万円（前年同期比5.5%増）となりました。
- ②化粧品・雑貨事業は、「ささやかな、幸せ感の創出」小さな感動が溢れる雑貨店を目指し、ひーな農園収穫祭、1DAYワークショップ、ハウズスクール等、地域密着型の販促活動によりプレミアム会員を増やし、ハウズオリジナルギフトの販売に注力することで、売上高は24億40百万円（前年同期比0.2%増）となりました。
- ③出版・広告事業は、「県内ダントツの情報発信基地」を目指し、グルメ情報を中心に深掘りした月刊誌「シティ情報ふくおか」に加え、デジタルブック「シティ情報ふくおか+（プラス）」にて、福岡都市圏の地域情報を発信し、ファンブック制作、SNS運用代行サービス、年間を通じた自治体PR広報等、事業の拡大を進め、売上高は90百万円（前年同期比18.6%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ6億94百万円減少し、173億76百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が11億20百万円減少したためです。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ8億57百万円減少し、67億97百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が4億82百万円減少したためです。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1億62百万円増加し、105億79百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益3億22百万円等により利益剰余金が1億60百万円増加したためです。この結果、自己資本比率は、60.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

令和6年5月14日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,769	3,472
受取手形及び売掛金	7,588	6,467
棚卸資産	1,011	1,737
その他	91	140
貸倒引当金	△83	△82
流動資産合計	12,377	11,736
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,981	1,986
土地	2,384	2,384
建設仮勘定	1	1
その他（純額）	156	150
有形固定資産合計	4,523	4,522
無形固定資産	16	16
投資その他の資産		
敷金及び保証金	558	556
その他	593	544
投資その他の資産合計	1,152	1,101
固定資産合計	5,693	5,640
資産合計	18,070	17,376

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和6年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (令和6年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,185	2,702
1年内返済予定の長期借入金	254	193
未払法人税等	452	127
契約負債	2,009	2,093
賞与引当金	189	100
その他	746	790
流動負債合計	6,837	6,007
固定負債		
長期借入金	398	371
長期未払金	411	411
その他	7	6
固定負債合計	816	789
負債合計	7,654	6,797
純資産の部		
株主資本		
資本金	381	381
資本剰余金	909	909
利益剰余金	9,025	9,186
自己株式	△0	△0
株主資本合計	10,316	10,476
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	1
その他の包括利益累計額合計	0	1
非支配株主持分	99	101
純資産合計	10,416	10,579
負債純資産合計	18,070	17,376

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
売上高	9,446	9,838
売上原価	7,276	7,555
売上総利益	2,169	2,283
販売費及び一般管理費	1,805	1,808
営業利益	363	474
営業外収益		
受取利息	0	0
受取手数料	1	1
受取賃貸料	3	3
協賛金収入	0	0
その他	0	0
営業外収益合計	6	5
営業外費用		
支払利息	1	0
為替差損	3	1
その他	0	0
営業外費用合計	4	2
経常利益	365	477
税金等調整前四半期純利益	365	477
法人税、住民税及び事業税	72	103
法人税等調整額	44	49
法人税等合計	116	153
四半期純利益	248	324
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	2
親会社株主に帰属する四半期純利益	246	322

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
四半期純利益	248	324
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	0
その他の包括利益合計	0	0
四半期包括利益	248	325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	247	322
非支配株主に係る四半期包括利益	1	2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	合計 (注)2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,935	2,434	75	9,446	-	9,446
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	-	0	0	△0	-
計	6,936	2,434	76	9,447	△0	9,446
セグメント利益	315	1	8	325	38	363

(注) 1. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去38百万円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	合計 (注)2
	パソコン・ ゲーム事業	化粧品・ 雑貨事業	出版・ 広告事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	7,314	2,440	83	9,838	-	9,838
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	-	7	8	△8	-
計	7,315	2,440	90	9,846	△8	9,838
セグメント利益又は損失(△)	430	△9	9	430	44	474

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去44百万円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和5年4月1日 至 令和5年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和6年4月1日 至 令和6年6月30日)
減価償却費	47百万円	43百万円